

Challenge Community Project
gathering
 チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト ギャザリング



ギャザリングは、全国の地域コーディネーターや、プロデューサーが半年に一度、全国から一堂に会し行っている集合研修です。各団体の地域での活動をより加速させるための場として、互いの学びあいの機会の提供や、有識者を招いての講演会、事業プランのブラッシュアップなどを行っています。また、大学関係者や行政関係者の皆様とのセッションも開催し、各地域での活動をより広めていくための場となっています。今回は、2013年2月9日(金)～11日(日)に行われたギャザリングの様子をお伝えします。



●Event Program● **地域仕掛け人市**
 (ギャザリング2日目開催)



本イベントは、都会で培ったビジネススキルを活かし、「地域に新しいイノベーションや仕事を生み出したい」という起業家精神を持った方向けの転職マッチングイベントです。志ある企業・農林水産業・観光・歴史伝統・食文化・教育機関・地域住民が持っている人間的魅力など、地域にある多様な「リソース」と地域内外の「人材」を繋げることで、新たな仕事を生み出し、地域の活性に繋げていく『コーディネーター』としての働き方を指向する人材を求めて、全国13地域のコーディネーター団体が求人を行いました。例年、本イベントでの出会いによって、数多くの方々が、実際に地域に移住され、現在も地域での仕事に励まれています。



(感想)
 転職やフルタイムで地域に入っていくという道だけでなく、参加者の方々が仕事をしながら、あるいは本業を活かして、地域とかかわり合いを持ち、貢献ができないかと考えている。そうしたコラボレーションの可能性のあることに気づきました。その後、実際に地域仕掛け人市で出会った方々と、今後のコラボレーションや活動への参画について、会って話をすることになりました。
 (NPO法人atamista代表理事 市来広一郎さん (静岡県熱海市))



(感想)
 実際に現場で活躍されている方々からの話を直接聞け、自分の仕事に結び付く可能性を感じました。タームごとに1団体は話を聞きたいところがあり、内容が充実していました。(一般来場者・社会人・男性)

●次回開催のご案内



次回開催
 2013年10月18日～20日

次回開催は2013年10月18日～20日の3日間となっております。

19日・20日は全国各地から選出された成果ある、若者を活用した人材コーディネート事例が18事例発表されます。

ここでは18事例を讀ると共に、学生を中心とした若者たちが地域での自らの活躍の場を体感し、地域を支えるセクター(大学・自治体・企業)はより若者の活用のヒントを得られ、両者共に「成長の可能性」を学び新たな挑戦の一步を踏み出す為の場となっております。

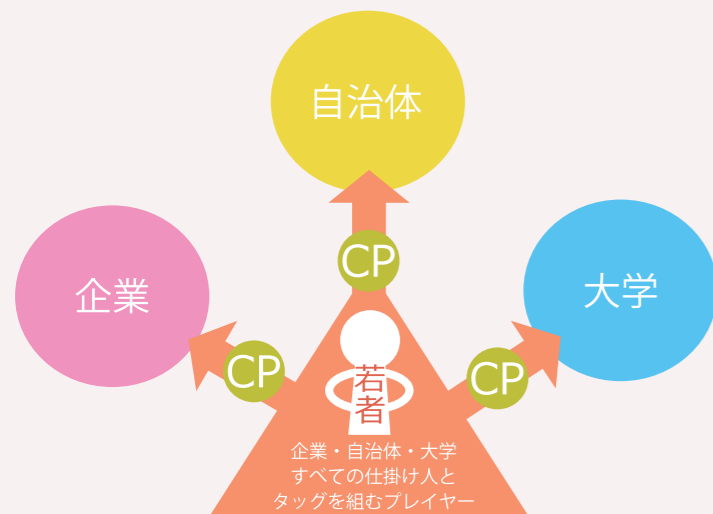
- 参加者一覧：
- 大 学：新潟青陵大学 / 東京都市大学 / 千葉科学大学 / 山梨県立大学 / 信州大学 / 岐阜大学 / 名城大学 / 岡崎短期女子大学 / 金沢大学 / 和歌山大学 / 高知大学 / 福岡大学
 - 自 治 体：銚子市役所 / 塩尻商工会議所 / 岡崎市役所 / 尾鷲商工会議所 / 七尾市役所 (産業振興課) / 鳥取市開発公社 / 鳥取市 (企画推進部 中山間地域振興課) / 鳥取県 (東京本部) / 津山市役所 (地域振興部協働推進室) / 島根県庁 / 熊本県 (商工観光労働部商工労働局労働雇用課) / 鹿児島県 (東京事務所)
 - 企業・団体：neeth 株式会社 / NPO 法人北海道エンブリッジ / いわて NPO-NET サポート / 一般社団法人ワカツク / 株式会社出藍社 / NPO ハーバランス / 株式会社明天 / NPO 法人ヒーローズファーム / 社団法人中越防災安全推進機構 復興デザインセンター / 株式会社御蔵川 / 株式会社クオリティ・オブ・ライフ / 独立行政法人国際協力機構 (JICA) / NPO 法人 ETIC. 横浜ランチ / NPO 法人東海道・吉原宿 / NPO 法人 G-net / NPO 法人アスクネット / 一般社団法人アスパシ教育基金 / NPO 法人ならゆうし / NPO 法人 JAE / NPO エリア・イノベーション / NPO 法人てごねっと石見 / 島スタイル / 株式会社瀬戸内ジャムズガーデン / 周防大島町 (地域おこし協力隊員) / 株式会社南の風社 / 株式会社ハウインターナショナル / くまもと県民交流館パレア (総務・NPOグループ) / 一般社団法人フミダス / 株式会社ニーズ / NPO 法人ネクステップ / マチトピラ / 株式会社ルーツ



人が育ち、地域が育ち、仕事生まれる。そして、希望湧く未来へ。
全国各地の挑戦ストーリーから考える、いま求められる、地域の挑戦を育む生態系。



Challenge
Community
Project



日本各地での「コミュニティ」の大切さは改めて考えていく中で、人と人との良質な関係性（つながり）を見直し、その繋がりの中で地域の新たな挑戦を育む仕組みが重要だと我々は考えています。各地域では社会の起業家精神を持ち課題に向き合い、自立した行動ができる若者たちが、これまで企業や自治体がカバーしてこなかったニーズを発見し、新しく困難な地域課題に挑戦しています。こうした挑戦には、地域の様々なセクター（企業、自治体、大学）の仕掛け人たちの存在も欠かせず、次の世代の仕事づくりや担い手育成を実現するには、仕掛け人たちが意図や戦略をもって活躍しながら、挑戦ができる場を設定し、機会をつくり、そこに若者を繋げていく「チャレンジ・プロデューサー（CP）」という役割が必要です。より多くの大学生・若手社会人・行政・自治体・大学・企業関係者が「地域における挑戦の生態系（=チャレンジ・コミュニティ）」創りへ参画することを願い活動しております。

CP: チャレンジ・プロデューサー

【感想】
東日本大震災以降ボランティアな視点にばかり、社会の注目が集まる事に疑問を感じていた。今回田坂さんの話を聞いて、事業の中にボランティア的視点、意味づけを行う「日本型企業経営」を実践する自社の方向性を再定義できた。社会の「ギャップ」を埋める事を事業とする自社の存在意義を実感できてよかった。



neeth 株式会社
代表
石井宏和さん
(北海道札幌市)

【 基調講演 】
今回は、シンクタンク・ソフィアバンク代表であり多摩大学大学院教授の田坂広志氏をお招きし、「いま地域で求められる人材—社会起業家の戦略—」というテーマでご講演頂きました。チャレコミのテーマでもある「起業家精神」の重要性や地域で求められている人材像についてお話し頂きました。



Program

| | |
|-------|---------------------------------|
| Day1 | |
| 13:00 | 基調講演 |
| 14:00 | オープンビジョンセッション |
| 16:00 | ワールドカフェ |
| 17:00 | 分科会 コーディネーター研修 大学関係者向け研究会 |
| 20:00 | 私の履歴書(懇親会) |

【 オープンビジョンセッション 】

田坂広志氏（シンクタンク・ソフィアバンク代表）、小城武彦氏（丸善 CHI ホールディングス(株)代表取締役社長（当時））、佐藤真久氏（東京都市大学准教授）、石川江江氏（NPO 法人ケア・センターやわらぎ代表理事）をメンターに迎え、全国 30 地域の CP 団体、自治体、大学関係者 70 名が、各地の活動の様子をリレートーク形式で共有。若者 × 地域 × 挑戦の動きが各地に広がり、コーディネート機能が各地で必要とされていることが改めて共有されました。



【感想】
あらゆる意志決定の場面で、自分は何を目的に、どこまで実現したいのかという問い直しが重要だと確認できた。また、ビジョンと現場の意識の往還の頻度を高め、小さくまとまらない意思決定を心がけていきたい。志をカタチに変えていくために必要な出会いやヒントを、この場でつかんでください。



株式会社ルーツ
代表取締役
今津新之助さん
(沖縄県浦添市)

【感想】
チャレコミに参加して3年。やっと「コーディネーター」の本当の意味や、深さが実感できた。顧客と捉えてしまっていたのは、永遠に同志になりえない。考えるべきは当事者意識が育まれるプロセス。字面では知っていたつもりになっていましたが、全然わかっていないことがわかりました。



マチトピラ
代表
末吉剛士さん
(鹿児島県鹿児島市)

【 コーディネーター研修 】
これからコーディネートの仕事を始める人向けの初級編、既にスタートしている人向けの中級・上級編を実施しました。中級編では、インターン受け入れ企業候補の経営者に対して、上級コーディネーターがどのように、受入企業・学生双方にプラスになる機会としてインターンを説明し導入提案をしているか実際のロールプレイ形式で実施。改めてプロジェクト設計の重要性を共有しました。



| | |
|-------|--|
| Day2 | |
| 13:30 | 地域仕掛け人市 パネルディスカッション |
| 14:30 | プレゼンテーション |
| 15:30 | ブース交流会 フリートーク ・UIターン ・農業 ・起業 |

【 大学関係者向け研究会 】

田 3つの分科会形式でプログラムを実施しました。
①COC 具体的な公募&その他補助金の活用について（桑木康宏氏/(株)ハウインターナショナル取締役）、②持続可能な社会の担い手づくりを通じた社会転換「SB インターンシップ」の重要性と「チェンジ・エージェント」の機能と役割（佐藤真久氏/東京都市大学准教授）③高知大学のインターンシップ開発の考え方—CBI 及び SBI の事例から—（池田啓実氏/高知大学地域協働教育学部門教授）



【感想】
取り組んでいること、向き合っていることの意義を再確認し、目の前にいる若者とどれほど真剣に向き合っているか、振り返る機会になりました。また他地域の先駆的な事例の情報や課題を共有する意義はとて大きいと思います。これからの活動の目指すものや取り組む内容、目標を一気に引き上げる機会になりました。

信州大学 サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (SVBL)
研究員 松浦俊介さん
(長野県松本市)

【感想】
地域への愛着とやる気をお持ちの社会起業家の方が全国にたくさんいらっしゃるの、このギャザリングは価値観を共有できる人との出会いの場になるのではないのでしょうか。熊本でもそういったネットワークの輪が広がり、社会起業家が若者を呼び込む流れができるよう支援していくことが必要だと感じました。そのためには、コーディネートのプロが育つような環境整備や支援を進めていくことが重要だと思いました。

【 地域別戦略会議（自治体セッション） 】
全国から「若者と一緒に何かを仕掛けたい」と思っている自治体関係者の方を中心に、熊本県庁、銚子市役所、熱海のまちづくり会社の方々からそれぞれ若者を活用した事例をお話し頂きました。その後、各地域で活動を展開していく際のポイントを、行政、民間の方が同じテーブルを囲んでワークショップを実施しました。



熊本県 自治体
熊本市 岡部康夫さん
(熊本県熊本市)

| | |
|-------|-----------------------------------|
| Day3 | |
| 9:30 | 地域別戦略会議 企業訪問 |
| 13:00 | 公開CPキャンプ FCA デジサーチ 横浜ビール |

【 企業訪問 】

午前東京で10年以上インターン受入をするフランチャイズアドバンテージ田嶋社長を全員で訪問、午後から3コース（熱海・横浜・東京）に分かれ、受け入れ企業経営者を実際に現地に訪問。受け入れ側の意味、意義や地域コーディネーターの役割、提案、また地域全体の繋がりなどについての生の声を聞くことで改めて自地域での活動への落とし込みに繋がりました。



【感想】
事業を通して社会に役立つ意味を改めて考えさせられました。（訪問した、インターン受入企業の）横浜ビール社長が何度も仰られていました。①仕事の本質②ビール屋としてどうあるべきかこの2つを自問自答することで、（自社の）事業を通して社会に役立つ具体的な内容が具体的にになりつつあり主催関係者と紹介者の（熊本のコーディネーター機関）フミダス様に変え感謝しております。

株式会社ニーズ
代表取締役
小柳諒真氏
(熊本県熊本市)

